

特集 Project "The Peak"



9月28日の山頂の様子。既に大きな残骸は片付けられた後です。上屋はほとんど燃え尽き、火災跡の臭いが漂っています。基礎は見かけ上、大きな損傷はありませんが、随所に高熱を受けたであろう表面色の变化が見られました。強度の低下と中性化は避けられないでしょう。

旧山小屋。(新築時)平成2年新築ですから、まだ老朽化はしておらず、使用には何の問題もありませんでした。手前が山頂神社。こちらはかなり老朽化しており、近年中に建て替えが必要なる事変わりありません。



2008年9月22日、太平山山頂の山小屋(標高1,171メートル、正確には参籠所)が全焼しました。昨年私は、6月と8月に山頂神社の劣化調査を依頼され、宮司さんと共に太平山に登っておりました。

近年中には山頂神社を改修したいとの相談を受け、調査を済ませ、構想に取り掛かろうとした矢先、山頂神社に隣接して建つ山小屋が全焼したのでした。不幸中の幸いで、神社への延焼は免れましたが、神社改修工事の唯一のベースキャンプを失ってしまいました。

火災から6日後の9月28日、取り急ぎ宮司さんと共に現場調査のため山頂に向かいました。現場までは、仁別国民の森・旭又キャンプ場から通常3時間～3時間半程度です。

山頂ですので、一度出火すると消す術もありません。見事に全焼し、コンクリートの基礎しか残っていません。基礎を解体するにしても街中と違い、撤去・処分も容易ではありません。重機をヘリで上げ、解体し、ガラはまたヘリで降ろすと、それだけで莫大な費用がかかります。しかし、高熱を受けたコンクリートの特性などを考えると、そのまま再使用も問題が多く残ります。そこで、既存の基礎はその場に残しつつ、その外側にコンクリートを打ち直すという方法を選択することにしました。

外壁は耐候性のある木製(ヒバ材)とし、屋根は従来より急勾配で考えています。それにより、より山小屋としての印象付けと同時に、屋根裏空間を確保し、収納・収容スペースの大幅なアップを図りました。また内部空間は、より利用しやすく宿泊時の快適性の向上にも配慮し、素晴らしい眺望を活かすような窓の配置としています。

恐らく初夏～盛夏にかけての施工で、いろいろな意味で難工事が予想されます。天候・疲労・不便さ・暑さとの戦い・・・

そして、それは監理を担当する私も同じ事。旭又登山口からベースが良くて往路2時間30分、復路2時間位です。2ヵ月程度の間に5～6回は登ることになりそうなので、仕事と趣味と鍛錬を兼ねて、完成を目指したいと思います。



正面ファサード



正面ファサードと見晴台



MODELING

スタッフの日常・非日常 vol.11



こんにちは。スタッフの渡部です。
4月吉日、晴れ。3年目の春が訪れました。
先日、NHKで伊東豊雄のドキュメント番組をやっていて、ちょうど二年前の今頃、つまり実務の世界に入りたての頃、仙台で伊東豊雄の展覧会を見たのを思い出します。
従来の建築には無い新しいカタチはもちろん、何よりも鳥肌が立ったのは、それを「何とんでも実現するんだ」という伊東事務所と施工者の執念、そして実現させていること。
はじめから無理・出来ないと思っていたら、何も新しいものは生まれない。「現実的」にアイデアを縮小するようなことは、伊東豊雄は決してしない。
伊東豊雄は、僕が建築を志した原点です。初心忘れるべからず。慣習に溺れず、常にチャレンジ。です。

【今月のマテリアル



ロビンソン コルクタイル
山小屋の宿泊室の床に使用予定です。素材は天然のコルクですので、木製のフローリングに比べて柔らかく弾力性があり、表面はポリウレタン塗装で防水、耐摩耗、耐腐食性に優れています。デスクチャアも独特で、洋風にも和風にもマッチし、床に薄いマットを敷いて直に寝ることのような山小屋には適した材料だと思います。足触りも良く、冷たい感じがありません。数年前にデザインさせていただいた三吉神社待合所の床もコルクタイルを採用しており、使用感・質感・メンテナンス性に優れ、宮司さんにも気に入っていただいております。

編集後記

みなさん、こんにちは。若葉萌ゆる4月になりました。秋田市内もつい先日まで、薄っすらと雪が積もるような日もあったのですが、ようやく日差しにも本格的な春を感じるようになりました。ここ数日は天気もよく、鼻もムズムズし始めています・・・我が家の子供たちも真新しい制服に身を包み、それぞれの進学先に通い始めました。このような暮らしの節目には、やはり感慨深いものがありますね。自分の夢に向かい、精一杯挑戦してもらいたいです。当然私も、です。

さて、今回の特集にもありましたように、間もなく山頂プロジェクトも、現場の再確認からスタートします。実は去年の調査登山以来、山にすっかりハマっておりまして、去年は太平山4回、森吉山、駒ヶ岳、白神山、栗駒山に登りました。登山と言いつても、近場の山のトレッキングのようなものですが、汗をたらだらかきながらストックに頂上を目指すのは結構自分には向いているようです。(笑)1人で行くことも多いので装備には十分気を遣い、やや大袈裟な位でちょうどいいのかな、と思っています。あつ、捜索保険にも入りますよ。今年も時間が許せば何度でも行きたいところですが、最近では週末の打ち合わせや住宅展も多く、そろいもいかないかもしれませんね。山には行かなくてもいつでも準備OKの体力くわいは維持していたいのですが、最近では・・・

それでは次回どうぞお楽しみに。

Media

さきがけ・オン・ザ・ウェブに「秋田駅西口バス乗り場修景整備」が掲載されました。



以下抜粋

秋田杉のバス乗り場誕生 秋田駅西口、イメージアップに役

秋田市のJR秋田駅西口に、秋田杉のバス乗り場が完成した。同市の「顔」である駅前のイメージアップを狙い、昨年12月から工事が進められていた。利用者からは「秋田杉ならではの温かみを感じられる」と歓迎されている。

と紹介していただきました。駅に行く機会がございましたらご覧下さい。

お知らせ



岩手県北上市で建築家展に参加します。

ASJ 奥州北上スタジオ・第3回建築家展
4月11日(土)・12日(日)
北上市文化交流センター さくらホール
岩手県北上市さくら通り二丁目1番1号
4/11(土) 11:00～18:00 入場無料
4/12(日) 10:30～18:00 入場無料

北上市、およびその近郊の方、是非お出でいただき、お声を掛けてください。

Web Site

- Home トップページ
- Profile プロフィール
- Concept コンセプト
- Service 業務案内
- Works 設計事例
- Conference 無料相談

ニュースレター
「建築家の日常・非日常」
発行責任者: 加藤 一成

株式会社 加藤一成建築設計事務所
TEL. 018-831-4315
FAX. 018-831-4316
HP. http://www.issei-design.com
BLOG. http://issei-design.cocolog-nifty.com/
MAIL. info@issei-design.com



今月の加藤一成
分離発注説明会で説明をする加藤。仕事はいつも真剣勝負です。